

平成29年度 入札監視委員会（第2回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	平成29年9月28日（木） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第4会議室	
委員 （◎：委員長）	伊東 克宏（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 後藤 由紀子（公認会計士） ◎細田 孝一（大学教授） （敬称略：五十音順）	
審議対象期間	平成29年4月1日 ～ 平成29年6月30日	
審議対象件数	19件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数 2件	（審議概要） ・ 審議対象事案説明 ・ 指名停止措置状況 ・ 談合疑義案件の処理状況 ・ 再苦情処理等 ・ 統計分析資料
建 一 般 競 争	0件	
設 一 般 競 争 (政府調達協定対象外)	1件	
工 企 画 競 争	0件	
事 随 意 契 約	0件	
建設コンサルタント業務等	1件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問 ①東京業務隊(29) 宿舎改修建築工 事(一般競争入札方式(政府調達 協定対象外)) 宿舎等の改修工事で屋上の防水 工事は何年毎に実施するのか。 外壁の改修とは、現在外壁に塗 布されている樹脂類の上から新た に樹脂類の塗布を行うのか。 コンクリートの中酸化検査を実 施しないで、定期的に改修する のか。	回 答 防水工事の施工についての保証 期間は10年であるため、改修を 行うとすれば約10年が目安には なると思われるが、改修工事の実 施については、工事要求元の部隊 による老朽度を考慮した予算要求 に基づいた計画により、工事を実 施している。 外壁改修は、既存仕上げ塗布材 を除去し、新たに仕上げ材の吹付 けを行うが、外壁にクラック等が ある場合には、クラック等の補修 と併せて行っている。コンクリー トの中酸化検査については、耐震 診断等の調査の場合には実施する が、本工事のような外壁の改修工 事では実施していない。

今回は屋根と外壁のみで、階段等の改修は実施しないのか。

入札状況調書を見ると、予定価格を超過している業者が多いが、予定価格と入札金額の差は何によるものか。

たとえば、防水工事に使う材料が違うため、双方の単価に差が生じるのか。

評価点の内訳を見ると、A社とB社では評価点に差があるが、どうしてこれほど差がでるのか。

階段室の改修は、屋外として見込んでいるので、外壁の改修に併せて実施している。その他、床のノンスリップ等が取れたり不具合がある場合は、併せて改修を行っている。

入札参加者の内訳書を確認したところ、予定価格を超過している者は、防水及び外壁改修工事におけるそれぞれの項目で材工共の単価が局側の単価より高く計上されており、本工事は改修する棟数が4棟と多いため、その分、予定価格に対して入札金額が高い積算となったようである。

局側の単価は、調査価格等の市場価格に基づいた単価を計上しているが、参加業者の単価は、下請業者が決まっていなければ安全側で計上されていると思われ、入札の際の単価に開差が生じていると考えられる。材料の仕様等については図面で指定されているので相違ない。

技術的能力審査結果表は、評価した点数の一覧になっており、最も高い評価点を取った者が、加算点の最大20点が付与される。審査結果表のとおり企業の施工能力における工事成績と技術者の経験に評価点の差が見られ、A社は評価点が最も高いため加算点が20点となり、それ以外の業者の加算点は按分して算定している。

②厚木飛行場周辺(29)移転対象物件(建物等・土地)調査業務(一般競争入札方式(政府調達協定対象外))

今回は建物19戸の調査だが、従来から実施されている業務のうち19戸分の調査ということか。

調査後は、移転対象物件を国が買い取ることになるのか。

この業務は、飛行場周辺で騒音被害を受けている方の希望により買収のための調査を行うものであり、ここ数年は大体20戸分の調査で推移している。

そもそも移転というのは本人の希望で、国が建物の補償と土地の買収のための事前調査として、用地測量と建物移転補償の業務を行う。この案件については今年度内に更地にしていただいた土地を買

<p>落札率がかなり低い、労務費が多くを占めるはずの調査業務で、入札金額をこれほど安くできるということは、人工を節約するか、若しくは一人当たりの労務費を極端に低減したと思われるが、業務の遂行上の問題は生じてないのか。</p> <p>そうすると、本業務の入札結果は、年度前半という時期的なものがかかなり影響しているということか。</p> <p>業務量に見合った賃金の適正な支払いに関する政策があるが、労務費を削減することにより入札金額を抑えるようなやり方を、発注者が認めるようなことがあってはならない。</p> <p>一般家屋なので、境界杭は打っていると思われるが、既存の境界杭があるのにも関わらず、再度防衛省で測量を実施するということか。</p> <p>登記簿上の面積を再度確認するということか。</p> <p>本業務は、当該土地区画は境界杭が曖昧な箇所がある可能性もあることから、現地で境界杭を確認しながら、測量を行う必要があるということか。</p>	<p>取する予定である。</p> <p>受注した業者に参考に確認したところ、年度後半は官公庁の発注が集中してしまい技術者不足となるが、年度の前半については、発注量も少なく集中的に技術者を投入できるため、効率的に業務が可能となることから、経費を抑えられるとのことであった。</p> <p>そのようである。</p> <p>落札者は、防衛省の業務を受注していきたいという意欲が強く、今回は上半期での発注ということで、経費の節減が可能となったということである。</p> <p>本件業務は、登記簿上の面積を確認するというのではなく土地の買収のため、実際に測量を実施し、正しい面積を算出することにある。</p> <p>多くは、登記簿上の公簿面積と実際の面積は近いが、必ずしも一致しているわけではない。</p> <p>厚木飛行場の周辺地区は、都市部のためほとんど境界杭はあるものの、中には大幅に公簿の面積と実際の面積が違うこともあり、公簿面積で買い取ると非常に危険性があるので、実際に測量を行い面積を算出する必要がある。</p>	
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特に意見なし。</p>	

<p>2. 談合疑義案件の処理状況について</p>			
	<p>談合疑義案件</p>	<p>総件数 0件</p>	<p>(審議概要) ・該当案件なし</p>
<p>工事</p>	<p>談合情報 ----- 点検結果疑義</p>	<p>0件 ----- 0件</p>	
<p>業務</p>	<p>談合情報 ----- 点検結果疑義</p>	<p>0件 ----- 0件</p>	
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>意見・質問 なし。</p>	<p>回 答</p>	
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし。</p>		

3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について		
審 議 概 要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析、調査項目別の平均落札率等の分析等を行った資料を委員に配布	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意 見・質 問	回 答
	なし。	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）		
該当事案なし		

平成29年度 入札監視委員会（第2回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	平成29年9月28日（木） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第4会議室	
委員 (◎:委員長)	伊東 克宏（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 後藤 由紀子（公認会計士） ◎細田 孝一（大学教授） (敬称略:五十音順)	
審議対象期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日	
審議対象件数	221件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	総件数 4件	（審議概要） ・ 役務・物品購入等審議対象 事案説明 ・ 指名停止措置状況 ・ 談合疑義案件の処理状況
一般競争	4件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
○委員からの 意見・質問	意見・質問	回答
○それに対する 回答等	<p>①東富士演習場(28)104移転訓練に伴う警備業務(一般競争入札方式(1者応札))</p> <p>入札契約状況を見ると、入札を4回まで行って、落札するまで入札価格を少しずつ下げたように思えるが、警備業務の予定価格の積算は、1人工当たりの単価が決まっていて、それに人工数を掛け算するのか。</p> <p>本件の場合、入札の際に参加者は、自社1者だけということはわかっていたのか。</p> <p>そうであれば、入札金額を少しずつしか落としてこないのも納得できる。</p> <p>警備期間が30日間で、各巡回コース毎に4名で車両による警備のようだが、30日間で契約金額約450万円だと1日あたり15</p>	<p>予定価格の積算は、国土交通省の歩掛かりに基づき算定しており、単価と人工数が決まれば、それほど難しいものではないため、容易に積算できると考えている。</p> <p>本件は、電子入札ではなく紙入札であったため、参加者が入札室に自社1者だけというのはその場で分かることになる。</p> <p>応札者の積算については承知していないが、結果的に4回目の入札で落札できたことから、金額的には厳しいかとは思われるが、局</p>

万円なので車両代も含めるとかなり厳しい契約内容という感じがするが、予定価格の算定に問題はないのか。

側の積算については、適切な単価を用い積算し予定価格を算定しているため、問題はないと考えている。

②横須賀造修補給所工作部施設外
(28) 施設発生物品売払(一般競争入札方式(複数応札))

本件契約は、基地の施設から生じた鉄屑等を売り払う業務と思われるが、なぜこのように大量の鉄屑、アルミ屑等の発生物品が生ずるのか。

これらの発生物品は、海上自衛隊が解体した工事から発生したものか。

一般に解体工事を行った際は、売却できないような屑は受注した工事業者が処分するものなのか。

売払なので落札額は予定価格より高くなっているが、予定価格の基となる積算価格はどのように算出しているか。

入札・契約状況調書を見ると、落札者とそれ以外の6者の入札金額に相当開きがあるがなぜか。

入札額に開差があるのは、発生物品に廃棄物が含まれており、これを適正に処分するための経費を考慮しているか否かの違いではないか。

電気の盤等の機械類屑を、ただの鉄屑として処分しているようだが、高く売れる希少金属等が含まれているものの中にはあるのではないかと思われることから、分別もせずに鉄屑として一緒に処分するのは支障はないのか。

一般的な金属屑と機械類屑は、分別の上、別途詳細に見積もる必

本件発生物品は、横須賀市内の海上自衛隊施設内の建物、工作物を解体した際に発生した鉄骨や電線ケーブル等の金属屑である。

施設の解体工事は、当局調達部が発注したものである。

当方は、鉄屑等の売却可能な発生物品について、当局調達部から引き渡しを受けて売払いを行っている。

発生物品の価格は、直近の「建設物価」等の公刊資料に掲載されている鉄屑等の単価に数量を乗じて算出し、基地からの搬出に係る運搬費等の経費を国土交通省制定の歩掛等により算出している。

各応札者に対し、入札金額の内訳については確認していない。

解体工事の際には、金属以外の付着物は極力除去するよう依頼しており、また、アスベスト使用や変圧器のPCB混入等及び廃棄物については、別の部署で必要な確認や処分がされていると承知している。

本件で扱う機械類としては、受変電設備や昇降機設備のような建物等に固着して設置された物が主なものであり、備品扱いされる機械類は別の機関が処分している。

本件契約に当たっては、現状引き渡しを条件として売払いしてい

要があると思うが、そうしない理由はあるのか。

仮に、機械類を分解した際に希少金属等の高価な物が採取できた場合は、別途積算について考慮しているのか。

いずれにしても、分別もせずに、すべて鉄屑として一纏めで処分するというのではなく、価値のある物とただ捨てるだけの物が混在していなければ良い。

る。なお、買取業者が自社の作業ヤードにおいて売払いできる物、産廃処理しなければならない物等の分別を行っているのを確認したことがある。

明らかに金のような高価な金属が使用されている発生物品は、相応の価格で積算することになる。

高価な金属が使用されている発生物品を、鉄屑程度の価格で積算することはないと考えている。

③旧深谷通信所 (28) PCB廃棄物解体収集運搬処分業務(一般競争入札(複数応札))

低入札価格調査を実施しているが、落札者は本件危険物処分業務を適切に実施できるか。

近年は大規模なPCB処分業務が減ってきていることもあって、官公庁の業務を受注したいということと、この業者は従前産業廃棄物処分業を営んでおり、その工場をPCBが処分できる工場に改修したことで、設備投資を少額に抑えることが可能となったとのことであり、本件も比較的低い価格で受注できたと聞いている。

④南関東防衛局管内 (28) 駐留軍等労働者心理検査業務委託(一般競争入札(複数応札))

このような業務を委託するということは、駐留軍等労働者はメンタル面での不調が発生する率が高いということなのか。

駐留軍等労働者は、米軍施設内で働くため、管理者がアメリカ人となり、英語で話さなければならないという特殊な職場環境の中で仕事をしていることから、ストレスを感じる方がいると聞いており、メンタル面でやや高めの結果が出ている。

例えば、国家公務員は3年ぐらいで転勤があるが、米軍の場合は空席が生じないと異動できないので、定年まで同じ職場で働くとなると人間関係等でストレスがたまることは考えられる。

落札額に比べ、予定価格が高いが積算はどのように行ったのか。

予定価格は、市場価格調査に基づき積算し算定している。他方、

		落札者は、他局においても本件のような業務を受注していることから、検査のノウハウがあり、入札金額を抑えられたようである。		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし。			
2. 談合疑義案件の処理状況について				
談合情報件数	0件		(審議概要) ・該当案件なし	
談合情報	0件			
点検結果疑義	0件			
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問		回 答	
	なし。			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。			
3. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数 0件		(備考)	
一般競争	件			
指名競争	件			
随意契約	件			
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問		回 答	
	なし。			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。			

平成 29 年度 入札監視委員会（第 2 回）議事概要

海上自衛隊

開催日及び場所	平成 29 年 9 月 28 日（木） 横浜第 2 合同庁舎 低層棟 1 階 共用第 4 会議室	
委員 (◎：委員長)	伊東 克宏（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 後藤由紀子（公認会計士） ◎細田 孝一（大学教授） (敬称略・五十音順)	
審議対象期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	
審議対象件数	6, 989 件（横須賀地方総監部 : 5, 527 件） (厚木航空基地隊 : 1, 462 件)	
1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	6 件	(審議概要)
一般競争	4 件	工事、委託、製造、売買、 役務 ①～③横須賀地方総監部 ④～⑥厚木航空基地隊
指名競争	1 件	
随意契約	1 件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問 ① 役務 一般競争（1 者応札） 「潜水艦用新魚雷の実用 試験の除籍艦曳航役務」 このような業務の契約 手続は、保全上、一般競争 でなく指名競争にしなく ても良いのか。 一般競争と指名競争の 保全上の線引きはあるの か。	

	<p>役務内容にしては、高額と感じるが、予定価格の適正性について説明せよ。</p> <p>② 製造 一般競争（複数応札） 「貨物昇降機以下」</p> <p>予定価格と落札価格に開きがあるが、予定価格の算定方法を説明せよ。</p> <p>39%の落札率に対して、どのように対応したのか。</p> <p>市場価格方式となっているが、見積りの適正性はどのように判断しているのか。</p> <p>いずれにしても、予定価格が、落札価格の3倍というのは開き過ぎと思われる</p>	<p>大型艦の遠距離曳航であり、それなりのタグボート（警戒船含む。）や労務が必要となり、作業日数もかかるため、高額の積算となったと考えられる。</p> <p>2者見積書と過去契約実績額を参考に積算した。</p> <p>低落札調査を実施し、問題なかった。</p> <p>落札企業に対する調査の結果、低価格落札の理由としては、①自社工場が近傍、②手持ち資材を有しているのが理由であったことから問題ないと判断した。</p> <p>倉庫建設は、南関東防衛局工事であり、昇降機（装備品）は、地方契約である</p>
--	--	---

	<p>る。</p> <p>倉庫建設時に昇降機込みで契約すべきだったのではないか。</p> <p>一般的には箱モノ（建物）と一緒に契約すると安くなる。ゼネコンもあるし、まとめた方がコストダウンできると思うが。</p> <p>予定価格と落札価格の差について、予定価格近似値の価格で落札された場合を考えると懸念が残る。</p> <p>建物と物品は、同時契約するのが一般的であり、特異なケースに感じる。</p> <p>3階建て倉庫で、なぜ建設と同時に装備することを考えなかったのか。</p> <p>落札企業は製造メーカーか。あまり聞かないメーカーであるが、メジャー企業とは、取り扱う製品の仕</p>	<p>ことから、倉庫の完成時期を見計らった契約となった。</p> <p>建物は国有財産、装備品は物品として区分されており、予算科目が異なることから、倉庫と昇降機をそれぞれで契約している。</p> <p>予算の切り分けは、中央（防衛本省）で行っているため真意は不明だが、人員ではなく貨物用の昇降機であることも理由かと考える。</p> <p>保守を考えると、予算上、国有財産と切り離す必要があったかと考える。</p> <p>自社で昇降機を製造しており、大型昇降機の専門メーカーである。</p>
--	---	--

	<p>様が違うのか。</p> <p>保守契約はどのようにするのか。</p> <p>③売買 指名競争（公募複数応募） 「軽油2号（艦船用（免税）」</p> <p>免税ということは、国内使用はしないのか。</p> <p>燃料代のみでなく、搭載作業等のサービスを含めた契約か。</p> <p>どのような内容で調達し、納入するのか。</p> <p>現地（ジブチ港）で対応できる企業は限られているのか。</p> <p>取引実績が多い方が有利になるのか。</p>	<p>本件とは別契約で、一般競争入札する。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>給油作業まで含めた形で、現地サプライヤーと契約する。</p> <p>石油施設は、国有企業のものである。</p> <p>ジブチ港では、商船契約がメインとなり、各サプラ</p>
--	--	---

	<p>元値が一緒なら、どのサプライヤーが契約しようと価格差はなく、勝負がつかないような気がする。</p> <p>④工事 一般競争（1者応札）「J-83金庫室整備」</p> <p>予定価格はどのように算定しているか。</p> <p>見積書は、契約相手方1者のものか。</p> <p>契約相手方は、特別な建築企業か。</p>	<p>イヤーともに実績はある。</p> <p>実績的には、1者ではなく複数者が応札している。</p> <p>公共工事設計労務単価等、一般に公表されている資料の数値と業者見積りとを組み合わせで算定している。</p> <p>1回目の公告入札は、2者であったが、2回目の公告入札は、1者である。（1回目は不調により、別日に改めて2回目の入札を実施した。）</p> <p>一般建築業者であり、設計等も一般建築物のものである。</p>
--	---	--

	<p>⑤委託 一般競争（複数応札） 「ボイラー設備保守管理業務」</p> <p>本事業は、毎年度行っているのか。前年度、前々年度の契約金額を教えてください。</p> <p>少しずつ契約金額が増額している理由は。</p> <p>毎回、2者応札で、契約相手方は、いずれも同じとのことだが、当該業者が常に安価な理由は。</p> <p>ボイラー機器設置業者と別の業者か。</p> <p>⑥委託 随意契約（公募1者応募） 「航空機等に係る整備支援委託役務」</p>	<p>毎年度行っている。26、27年度ともに2者応札、両年度とも、契約相手方は今回と同じである。</p> <p>契約金額（税込） 26年度：27,324,000円 27年度：28,080,000円</p> <p>人件費及び物価上昇が影響していると考えます。</p> <p>一般競争で門戸は広がっているが、落札者の方が常に安価な理由については、確認していないのでわからない。</p> <p>別の業者である。</p>
--	---	--

	<p>随意契約とした理由は何か。</p> <p>今回受注している業者でなければできない特殊な業務はあるか。</p>	<p>航空機の航空安全に直結する業務であり、航空機整備に関するノウハウがない会社でも契約可能となった場合、航空安全に影響があるため公募とした。</p> <p>航空機整備業界の企業であれば、同様の整備管理や資材管理を実施していると考えられるので、本役務が特殊な業務ということはない。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
2. 談合情報案件の処理状況について		
談合情報件数	0件	(審議概要) ・該当案件なし。
談合情報	件	
点検結果疑義	件	
○ 委員からの意見・質問	意見・質問	回答
○ それに対する回答等	なし。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
3. 再苦情処理（再説明請求回答）		
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数 0件	(備考)

一般競争	件			
指名競争	件			
随意契約	件			
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				